

難病をもつ方とその家族を支えるシンポジウム 2024

『ウィリアムズ症候群の現状と展望：日本と英国の研究紹介』

近年、患者さんやその家族たちの想いや経験を、病気の解明や将来の治療に役立てようという取り組みが注目されています。そこで、このたび私たちは「難病をもつ方とその家族を支えるシンポジウム 2024」の開催を企画いたしました。

今回は、ウィリアムズ症候群について日本と英国の研究者が集い、最新の研究発表だけでなく、患者さんやご家族との対話を通じて交流をはかりたいと考えています。

当日は、特別講演として英国ダラム大学から Deborah Riby 教授をお招きし、ウィリアムズ症候群の認知発達研究についてご紹介いただく予定です（日本語通訳付き）。

お気軽にご参加いただき、奈良の春を楽しんでいただけますと幸いです。

日時：2024年4月6日（土） 14:00-16:30

場所：東大寺総合文化センター 金鐘ホール <https://www.todaiji.or.jp/information/hall/>

参加費：無料（事前登録は不要です）*託児施設は用意しておりませんが、お子様もご同伴可能です。

プログラム

14:00	開会挨拶 平岡 慎紹（東大寺福祉事業団 常任理事）
14:05-14:25	木村 亮（大阪大学大学院 連合小児発達学研究所 教授） 「ウィリアムズ症候群：健康上の問題とその対応」
14:25-14:45	浅田 晃佑（東洋大学 社会学部 准教授） 「ウィリアムズ症候群の方のコミュニケーション特性と支援」
14:45-15:05	平井真洋（名古屋大学大学院 情報学研究科 准教授） 「ウィリアムズ症候群の方の感覚特性と社会的認知特性の発達変化」
15:05-15:20	休憩
15:20-16:10	特別講演 Deborah Riby（英国ダラム大学 心理学部 教授） Anxiety and the Social World of Young People with Williams Syndrome （ウィリアムズ症候群の若者の不安と社会）*日本語による通訳あり。
16:10-16:30	質疑応答と総括
16:30	閉会挨拶 富和 清隆（東大寺福祉事業団 理事長）

協賛：東大寺福祉事業団，日本学術振興会・外国人研究者招へい事業，科学研究費助成事業・国際共同研究加速基金(国際共同研究強化 B)21KK0041，挑戦的研究(萌芽) 23K17638，基盤研究(B) 22H00986，学術変革領域研究(A)「生涯学」 23H03883

問い合わせ先： narasympo2024@gmail.com (名古屋大学大学院情報学研究科心理・認知科学専攻 平井研究室)